



5 / 26

なよろアスパラまつり



駅前交流プラザ「よるーな」駐車場で開催。昨年の2倍となる600キロのアスパラが販売されたほか、来場者はアスパラを使った各種グルメを味わいながら名寄朔北太鼓やよさこい演舞、各アーティストのライブを楽しんでいました。名よせ駐車場でも同時にイベントが開催され、多国籍屋台のほか、謎解きや玉子まき、アコースティックライブなどに多くの人でにぎわいました。

来場者は旬の味覚を存分に堪能していました

市ホームページでまちの出来事を紹介している「フォトでお知らせ」。広報版はホームページから内容を抜粋して掲載しています。

6 / 1

南小学校運動会



同校グラウンドで行われ、児童たちは徒競走やリレーなどで競い合い、日ごろの練習の成果を発揮しました。応援席からは、一生懸命がんばる児童たちに声援や拍手が送られていました。

「令和初 南っ子完全燃焼く今年度の南っ子はひとあじちがうく」

6 / 3

学校訪問出前寄席



落語家の林家卯三郎さんが午前中に名寄小学校、午後から名寄東中学校で落語を披露しました。児童・生徒たちは初めて聞く人がほとんどで、落語の面白さに興味津々のようでした。

高座に上がってうどんをすすする演技などを体験しました

5 / 29

チャレンジデー2019



最高気温が16度だったこの日は、肌寒かったものの風は弱く、天候はほど良く屋外スポーツには適した状況で、市民の皆さんは朝からラジオ体操やゲートボール、パークゴルフなどを楽しんでいました。スポーツセンターで行われた市民綱引き大会では、全体で168チーム、1,657人の市民が参加し、白熱した試合に会場は熱気を帯び、スポーツによる市民の健康増進を図れた一日となりました。



過去12勝13敗の成績で臨んだ今年は、参加率65・2%で佐賀県神埼市参加率61%に勝利し、対戦成績を五分五分にしました

6/5~7 杉並区で「なよろアスパラまつり」



交流自治体の東京都杉並区の杉並区役所前で「なよろアスパラまつり」を開催。用意したアスパラを完売したほか、名寄産もち米を使用した大福などの特産品も販売し、名寄市をPRしました。

およそ930キロのアスパラを販売

6/4 「花の日」にちなみ園児たちが花束をプレゼント



19世紀にアメリカの教会で始まった「花の日」の行事で、名寄幼稚園の園児たちが市役所名寄庁舎を訪れ、加藤市長に感謝の言葉とともに花束とメッセージカードを手渡ししました。

「花の日」では、お世話になった方などに花束を届けます

6/16 技能フェスティバル2019



上川北部地域人材開発センターで開催。技術者が作成した木工品などが販売されたほか、左官や板金などの体験を行うことができ、参加した子どもたちは楽しく作業をしていました。

ものづくりの楽しさと難しさを体験しました

6/14 市立大学生たちが市内の農家で農業実習



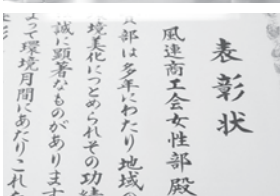
市立大学の授業の一貫として行われ、市内農家の協力により、学生たちがトマトやスイートコーンなどを実際に作付けしました。学生たちは、農家の皆さんからコツや注意点を学んでいました。

128人の学生が参加、農業への関心は高まっています

PICK UP 風連商工会女性部が環境大臣表彰受賞を報告

令和元年度環境保全功労者等環境大臣表彰式が6月12日に都内ホテルで開催され、風連商工会女性部(石垣久子部長)が地域環境美化功績者として受賞しました。

同部は、昭和50年から「花いっぱい運動」に取り組み、国道40号線の沿道に色とりどりの花を咲かせ、道行く人の心を和ませながら、地域のイメージ向上や交通安全を呼びかけてきました。その活動に対し、今までも道路功労者表彰や北海道みち100選表彰、北海道社会貢献賞なども受賞。45年の長きにわたる地道な活動、受賞功績が評価され今回の受賞となりました。受賞にあたり石垣部長は「このような立派な賞をいただけるのは、歴代女性部の皆さんの活動があったからこそ」と諸先輩方に感謝の念を語り、「この受賞に恥じないよう、今後も活動を継続していきたい」と抱負を述べました。それに対し加藤市長は「引き続き、地元の方々や観光客のためによりよくお願いします」とエールを送りました。



40年以上も継続した活動が評価されました